

「ペアレントメンター養成研修」 開催までの経緯と研修内容

福井県発達障害児者支援センター
スクラム福井 センター長 福田晋介

福井県の障害福祉圏域 【2007年3月現在】

福井・坂井圏域
 市町数 4
 人口 411,907人
 身体障害者 17,671人
 知的障害者 2,266人
 精神障害者 807人

丹南圏域
 市町数 5
 人口 192,837人
 身体障害者 9,067人
 知的障害者 1,091人
 精神障害者 373人

奥越圏域
 市町数 2
 人口 66,352人
 身体障害者 3,829人
 知的障害者 525人
 精神障害者 287人

嶺南圏域
 市町数 6
 人口 149,977人
 身体障害者 7,259人
 知的障害者 910人
 精神障害者 465人



【平成21年度】

スクラム福井の相談・支援の傾向

<ul style="list-style-type: none">保護者、親族からの相談本人からの相談、支援 <p>【全体の84.5%】</p>	<p>1750件 1729件</p> <p>【3479件】</p>
<ul style="list-style-type: none">就労についての相談本人への就労相談、就労支援 <p>【全体の50.4%】</p>	<p>781件 1294件</p> <p>【2075件】</p>

本人、家族からの相談・支援や就労に関する相談・支援が非常に多い

ちち☆ははサポートクラブ

- 平成19年1月より敦賀市で試験的に3回開催
【センターの事業委託 平成18年10月】
- 平成19年度から
福井市、敦賀市、大野市の3ヶ所
1～2ヶ月に1回開催
- 2時間の自由参加
情報交換
時には講師を呼んで研修会

ちち☆ははサポートクラブの開催回数と参加人数

	福井市		敦賀市		大野市	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
H18年度	—	—	3回	19名	—	—
H19年度	9回	16名	11回	76名	11回	53名
H20年度	7回	22名	6回	32名	6回	28名
H21年度	5回	9名	6回	31名	5回	46名
合 計	21回	47名	26回	158名	22回	127名₅

ペアレント・メンター養成事業

- 日本自閉症協会

2005年(平成17年)から開催

自閉症児者の家族支援の人材養成事業

【ペアレント・メンター養成事業】

- 2006年(CD付き)報告書
2007年報告書



スクラム福井の研修準備

- ①愛知県自閉症協会のペアレントメンター養成研修を見学
- ②井上雅彦先生(鳥取大学)への連絡
- ③日本自閉症協会に問い合わせ
- ④福井県自閉症協会と連携
- ⑤2009年度愛知県自閉症協会のKさん
2010年度三重県自閉症協会のYさん

ペアレントメンターガイドライン【目的】

- メンター(mentor)とは「信頼のおける相談相手」という意味
- 目的・・・日本自閉症協会のペアレントメンターは支部機能を活用し、自閉症を持つ親が一人でなやまなくてもすむように、地域での当事者同士の支えあいを推進することを目的とする。

(日本自閉症協会のペアレントメンター養成研修より引用)

ペアレントメンターガイドライン【役割】

- 役割・・・同じ親として仲間の子どもの障害理解や障害受容への支援を行う。発達障害とそれに関連する情報の提供を行う。地域の社会資源に関する情報の提供を行う。専門機関での、相談のきっかけ作りとなるよう可能な範囲での支援を行う。

（日本自閉症協会のペアレントメンター養成研修より引用）

ペアレントメンター研修受講者

		2009年【第1回】	2010年【第2回】
参加者	男性	2 名	3 名
	女性	15 名	15 名
参加者の年齢	40歳未満	5 名	3 名
	40歳～50歳	10 名	12 名
	51歳以上	2 名	3 名
参加者の子供の年齢	0歳～6歳	2 名	1 名
	7歳～12歳	8 名	9 名
	13歳～18歳	5 名	5 名
	19歳以上	2 名	2 名
子供の障害種別	HFA、HFPDD	4 名	2 名
	自閉症スペクトラム 自閉症・PDD	9 名	13 名
	MR・ADHD・その他	4 名	2 名

養成研修のスケジュール

2009年、2010年開催の

「ペアレントメンター養成研修」

「フォローアップセミナー」 のチラシを添付

【第1回】	2009年5月23日、24日
【フォローアップ】	2010年5月22日
【第2回】	2010年6月26日、27日
【フォローアップ】	2010年11月20日
【フォローアップ】	2011年6月11日

養成研修の役割分担

役 割	担 当 者
養成研修の企画・運営 研修の全体進行・写真・記録 ロールプレイのサブ	センター職員
全体掌握 講座【家族への支援、相談技術】 ロールプレイ	鳥取大学大学院 井上雅彦教授
公開講座【発達障害の基本的理解】	・子ども療育センターの医師 ・京都大学の十一元三教授
ロールプレイのインストラクター【6名】	養護学校の先生 地元行政の臨床心理士 児童相談所の職員 療育機関の支援者 etc.
リーダーインストラクター【1名】	自閉症協会のペアレントメンター 【愛知県・三重県】

養成研修の決算 【2010年度分】

【 単位:千円 】

経費項目	内 訳	金 額
旅費	講師旅費【2名】	34
	インストラクター旅費【述9名】	46
謝礼	講師謝礼【@50,000円×3名】	150
	インストラクター謝礼【述5名】	30
宿泊費	講師、インストラクター	43
会場費	会場借上費用【会場費免除】	0
会議費	茶菓代・昼食費 【講師・インストラクター】	29
印刷費	公開講座資料【1名・・・20枚】 メンター資料【1名・・・150枚】 ファイル	109
合 計		441

メンターさんのアンケート【2010年】

- フォローアップセミナーを受けて、感じることはどれですか？

メンターとしての活動の場があれば、相談を受けていきたい	11
個人的に相談を受けていくことを検討している	0
相談を受けるのには、今の段階では不安がある	5
自分は相談に向いていない気がする	2
他者の相談をメンターとして受けるには、難しいと感じる	3
自分の知識として、より研鑽していきたい	6
その他	1

- 今後、スクラム福井主催の定期的なフォローアップを必要と感じますか？

必要であると思う	17
必要はないと思う	0
どちらともいえない	0

- 定期的なフォローアップに期待することは、どんなことですか？

発達障害の基礎知識講座	4
発達障害の特性講座	6
発達障害の支援講座	14
社会資源の把握	13
相談支援技術の講座	11
ロールプレイ(相談技術)	9
情報交換会(座談会や親睦会)	11
その他	1

- 定期的なフォローアップについて、参加したいと思いますか？

参加したい	6
日にちがあれば参加したい	11
参加が難しいと思う	0

井上先生のブログ

- **2009.05.24 Sunday 福井ペアレントメンター終了**
福井終了しました。ロールプレイは毎回新しい発見があります。今回あらためて感じたのはメンターを普通のカウンセラーとして養成するのではなく、親という同じ立場で共感的な理解をしながらともにエンパワメントしあえる聞き手として育てるという事です。専門家や一部の人が行う発達障害者支援ではなく多くの人に参加して作っていけるように各地域でメンターの方向性を考えていく必要があります。
- <http://aba.jugem.jp/>

- **2010.06.28 Monday** ペアトレトメンターとしての聞き方

二日間のミッションが終わりました。講座の受講生の皆さんインストラクターの先生方ご苦労様でした。

今回も私自身いろいろ勉強になりました。その一つが当事者支援ならではの技術です。

いろいろなロールプレイをみたり質問を受けたりする中での新鮮な発見はカウンセラーの相談技術基礎研修の常識では×でもメンターという当事者同士であればなことやその逆のことも非常に多いということです。

このことはカウンセラーの基礎技術研修を単にメンター研修で行うのではなく共感や傾聴、エンパワメントなどひとつひとつを当事者支援の特性に合わせて考えていく必要があるということです。

専門家相談にはない特徴をうまく引き出すためにはカウンセリングの常識にだけにとらわれない視点も必要だといつも感じさせられます

ペアレントメンター養成事業をおえての感想

①ペアレントメンター同士集う機会に、それぞれの受容があることを知る

・・・【自然な気付き】

②親は話を聞いて欲しいと思っている

・・・【聞くだけでいい】

③親から親への、親にしかできないサポートの必要性は薄れることはない

・・・【同じ立場だからこそ】

行政の役割として期待すること

- 福祉の制度や施策等の情報提供
 フォローアップセミナーへの最新情報の提供
- 予算確保による事業の安定的継続
- メンターの活動の場、機会を作るための広報、調整

社会資源としてのペアレントメンター

- 愛知自閉症協会

相談支援、ペアレントメンター研修にインストラクターとして派遣

- 鳥取県

ペアレントトレーニング

サブスタッフとして参加

就学の悩みに対応したグループ相談会の
体験報告

鳥取自閉症協会事務局での電話相談

発達障害児支援情報調査事業 【福井県】

各地域における発達障害児に関する相談機関・支援機関の調査をペアレントメンターに委託

○**調査先**: 県の予備調査による相談・支援機関および市町、福井県発達障害者支援センターで把握する相談・支援機関

○**調査内容**: 名称、所在地、電話番号、対応時間、支援内容のほか必要と認める事項

○**調査方法**: 調査票の郵送、実地調査、電話聴取

「子どもの発達に不安を感じたとき・・・のガイドブック」

【 <http://scrum-fukui.com/guidebook.html> 】

ペアレントメンター事業の課題

- 社会資源としてのペアレントメンターの活用や活動の予算付け
- ペアレントメンターに対する研修等のフォローアップ体制の整備
- 発達障害者支援センターとの協力体制

そして、最後に・・・

- ペアレントメンターは専門家ではない
- ペアレントメンターは問題を解決しない